

まっすぐ、あなたへ。



埼玉縣信用金庫

地域密着型金融の取組み状況について

(2019年度)

地域密着型金融の推進に関する基本方針

＜基本方針＞

- ① お客さま・地域のニーズを十分に把握し、応える取組みとします。
- ② お客さま・地域の成長とともにさいしんも成長できる、持続可能な取組みとします。
- ③ 専門性の高い金融機関として、お客さまを支える取組みとします。

地域密着型金融の推進に関する基本方針

金融庁「金融行政方針」では、顧客本位の良質な金融サービスを提供し、企業の生産性向上等を助けることにより、安定した基盤・収益を確保することが、地域金融機関が生き残るための有力なビジネスモデルであると示しております。事業性評価に基づく融資や、取引先企業の本業支援等、金融仲介機能の質の向上に向けた取組みが重要です。

当金庫では、「地域密着型金融の推進」並びに「地域創生」にかかる取組みを信用金庫の本業・使命と位置づけ、経営計画の中核とするとともに、「質」の高い取組みの実現を目指し、その深化・発展に努めております。

今後も基本方針に基づく良質なサービスを提供し、《さいしん》独自の価値を作り上げてまいります。

2019年度TOPICS

TOPICS 01 取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮

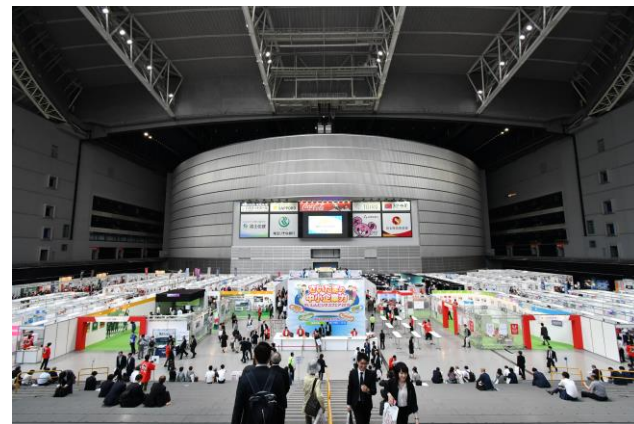
日常的・継続的に取引先企業との関係を構築し、経営の目標や課題の把握・分析を行っております。

○「さいしんビジネスフェア2019」開催（6/12）

3回目となる当金庫単独のビジネスマッチングイベントを開催いたしました。265の企業・団体にご出展いただき、当日の来場者は15,098人、商談件数は2,850件となりました。

○若手経営者の集い「ささらの会」活動の充実

2017年に設立した若手経営者の集い「ささらの会」は現在164名の正会員で活動しております。2019年は「さいしんビジネスフェア2019」へのブース出展や、高岡信用金庫（富山県）の経営者クラブ「たかしん次世代リーダーの会KI・ZU・NA」との交流会を実施いたしました。



○その他の取組み

- ・2019年度の創業支援融資実績は、944件・8,835百万円となりました。
- ・企業ごとに課題把握シート(1,575件)・事業性評価シート(54件)を作成し、個別の状況や課題を把握して、経営支援に活用しております。
- ・お客さまの課題に対し、さまざまな分野の専門家と連携して、最適なソリューションを提案しています。不動産ビジネスマッチングサービス業務提携では、470先紹介、うち104件成約、事業承継・相続等の業務提携では、相談174件、うち成約46件となりました。

2019年度TOPICS

TOPICS 02 地域の面的再生への積極的な参画（地域経済の活性化への貢献）

- まちづくり事業支援として、一般財団法人民間都市開発推進機構（民都機構）との共同出資により、県内5地域を対象とした「さいしんまちづくりファンド」を総額120百万円で設立いたしました。
- クラウドファンディングの組成支援を行い、多様な資金調達手段をご提案しております。2019年度の組成支援実績は6件となりました。なかでも、「嵐山町ふるさと納税型クラウドファンディング」の組成については、台風19号で被災した嵐山溪谷バーベキュー場の応援プロジェクトを支援いたしました。
- 包括連携協定を締結している地方自治体や商工会と連携し、各種セミナーを実施いたしました。



TOPICS 03 地域や利用者に対する積極的な情報発信

- 「**しんきん圏央道アライアンス**」の連携強化
2018年に協定を締結した「しんきん圏央道アライアンス」（水戸信用金庫、千葉信用金庫、平塚信用金庫、多摩信用金庫）の枠組みにて、さまざまな連携事業を行っております。
 - ・日本財団『わがまち基金』を活用した地域創生支援スキームへの取組み
 - ・職員から地域レポーターを任命し、地域の魅力を発信
- 新型コロナウイルスへの対応**
 - ・2月14日 ご相談窓口の設置
 - ・2月18日 特別支援融資の取扱開始